

議会だより

2015.4.22

No. 165

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ

こわがらず
すべれたね!

— 押原公園 —

特集 住民と共に歩んだ4年間 ②

町長の施政方針 めざす町はこれだ! ④

ふれあい保養施設拡大! ⑥

一般質問 ここが聞きたい ⑭

歩んだ4年間

議会は地方分権型社会に対応できる議会を目指し「学ぶ議会」「行動する議会」「改革・変革する議会」と3本柱で多種多様な議会改革を進めてきました。

議長に就任以来、さらに「町民と共に歩む議会」を加え、開かれた議会運営に努めました。町制40周年記念体験発表会、議会モニター制度、議会災害対策本部設置要綱の制定、また、山梨学院大学と提携したワークショップでは、初の試みで町民を交えた「政策提案学習会」を実施しました。そして平成19年から、の議会改革が認められ、本年2月に全国町村議会議長会で特別表彰を受賞しました。この賞は町民19、136人（H27・3現在）全員でいただいた賞であり、誠に誇り高いものです。国会でも地方創生、地方活性化に取り組む中、県及び各市町村が切磋琢磨し、地方が元気になるよう期待いたします。

議長 萩原 馨

H26年度

H25年度

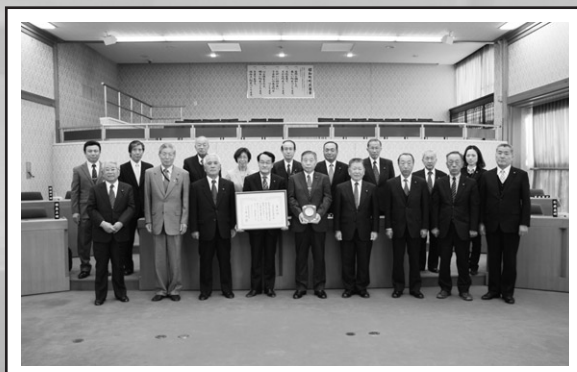
- 新!委員会構成
- 議員定数問題 来期も16名で実施
(議員協議会で決定)
- 議員提出議案 月額報酬を減額
(H25.7～H26.3)
- 議会だよりしょうわ 創刊40周年!
- 町民参加型政策提案学習会

- 委員会提出議案 道州制断固反対!
国へ意見書提出
- 議員防災訓練
- 県広報コンクール町村議会部門で
6年連続最優秀賞受賞!
- 議会基本条例改正
- 議会災害対策本部設置要綱改正
- 全国町村議会議長会

町村議会特別表彰受賞!



町民参加型政策提案学習会



県下初の受賞!

特集 住民と共に



山梨学院大学生とのワークショップ



体験発表風景



宮城県利府町視察

H24年度

- 議会主催 町制40周年体験発表会
- 議会災害対策本部設置要綱制定
- 県下初!議会モニター発足
- 議員防災訓練

H23年度

- 活発な委員会研修
- 山梨学院大学生とのワークショップ
- 全国町村議会広報コンクールで149号が

最優秀賞受賞



防災備蓄倉庫確認(押原公園)

はこれだ！



基本となる4つの柱！

1 第6次総合計画を策定

昭和町の未来を描く長期計画であり、町のすべての計画の指針となるもの。町民にとって望ましい将来像の方向性を導くほか、中部横断道やリニア中央新幹線の開通を見据えたまちづくりや人口減少対策等、計画に盛り込んでいきます。



2 調整区域内の土地利用のあり方を検討

将来的な人口減少対策と、定住人口を増やすことに重点をおき、本町の地域性を考えながら法令に沿った範囲で、開発行為を進めていきます。

3 生涯学習館の設置

老朽化した中央公民館の更新を考え、補助金や交付金の活用などのほか、生涯学習館建設の具体的な方向性を示していきます。



文化活動の様子(町コーラス部)

4 子育て支援策の具体化と高齢者の見守りに関する方策の構築

町民にとって何が必要なのか、町民目線でしっかり見定め、対応を進めていきます。



めざす町

キーワードは6つの指針！

①住みよい町

- ・ 押原駐在所の交番化(H27.4 ~ 開所)
- ・ セキュリティーポリシー計画(H18年策定)の更新
- ・ 各区の要望に基づく道水路、河川改修ほか
西条・昭和インター線の開通等の継続整備
- ・ 調整区域内の開発許可権限移譲
- ・ 常永土地区画整理事業に関連する工事等の完了

②みんなでつくる町

- ・ 町内で活躍する各種団体との連携・支援の継続
- ・ 釜無・国母両工業団地の企業との連携強化
- ・ ふるさと納税の推進

③のびのび子育てができる町

- ・ 保育料のあり方や子育て支援方策の検討・具体化
- ・ 子どもの医療費助成の検討

④緑豊かな町

- ・ 町イベント「エコしょうわ」や太陽光発電設備の設置補助金の継続
- ・ 農業後継者の確保、町ブランド米補助等の助成事業の継続
- ・ JA中巨摩東部農協との連携による営農指導

⑤希望に燃える町

- ・ 英語教育、キャリア教育、防災教育等の継続・推進
- ・ 本町の象徴!! 源氏ボタルの保護・活動・PRの推進
- ・ 体育協会やスポーツ推進委員による活動等の支援
- ・ 文化協会会員等の活動、周知啓発

⑥お年寄りや障がい者に優しい町

- ・ 子どもたちが年齢を重ねても健康で暮らせる生活環境の提供
- ・ 高齢者福祉の中でワクチン接種の継続、ふれあいサロン等の活動支援ほか、
認知症対策、高齢者支え合いの仕組みの強化
- ・ 障がい者・寡婦・ひとり親家庭への支援策の充実化



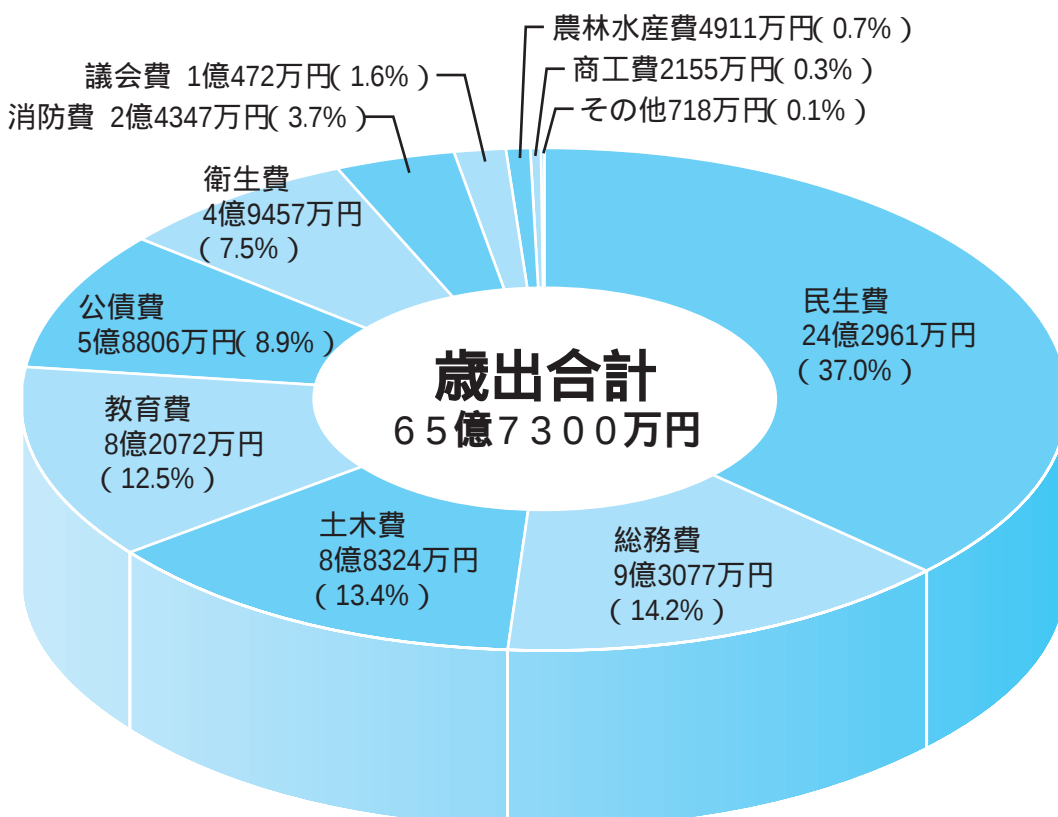
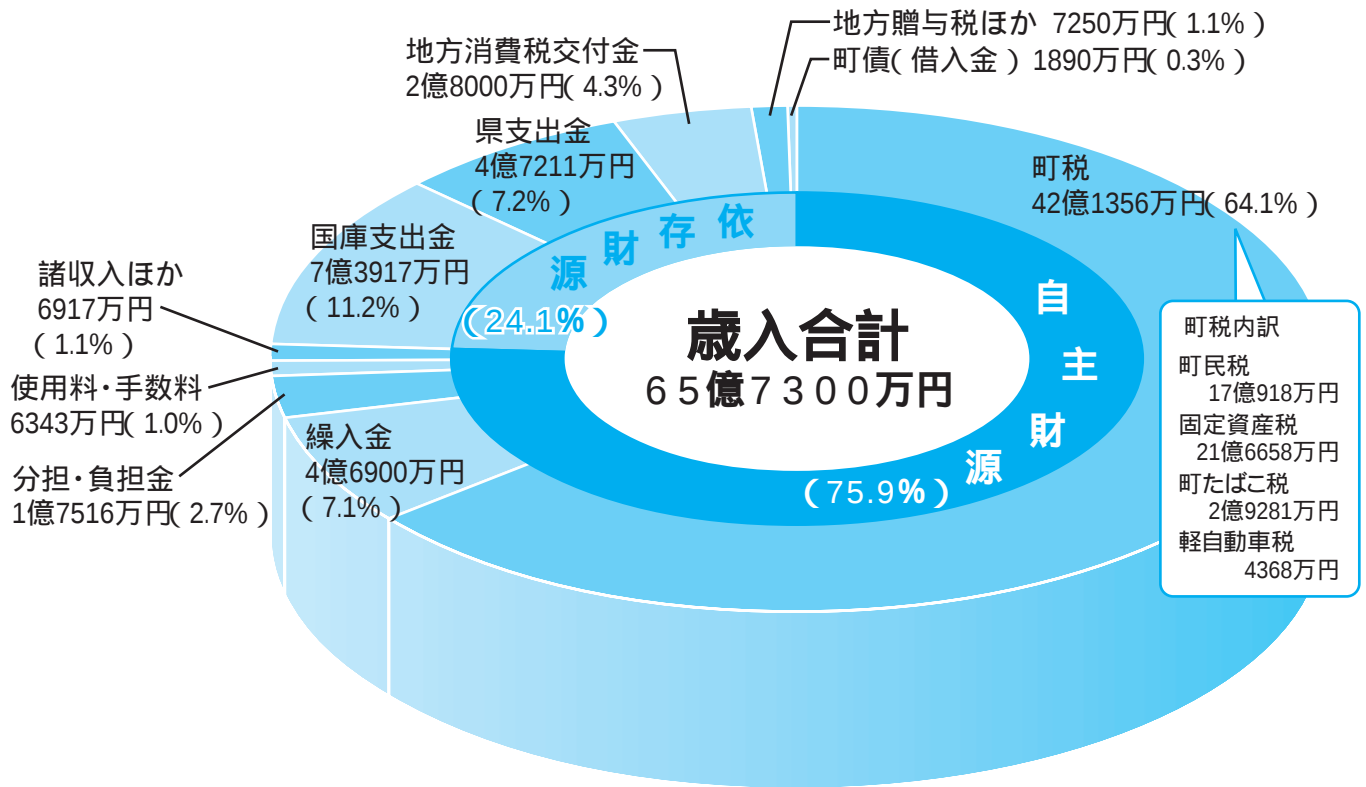
町の安全を守ります



たくさんのボタルが育ちますように

保養施設拡大！

つながりで提携



数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

平成27年度
一般会計

ふれあい

小さい町

長野県で面積が
いちばん小さい町
小布施町

人口：11232人
(2015年4月1日現在)
面積：19.07km²

山梨県で面積が
いちばん小さい町
昭和町

人口：19136人
(2015年3月末現在)
面積：9.08km²

静岡県で人口が
いちばん少ない町
松崎町

人口：7243人
(2015年3月末現在)
面積：85.23km²

■ 平成27年度一般会計(骨格予算)・特別会計予算

会 計 名		平成27年度予算	平成26年度予算	前年度比	可否
一 般 会 計		65億7300万円	69億1000万円	4.9%	賛成14：反対1
特 別 会 計	国民健康保険	20億5300万円	17億9500万円	14.4%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億3560万円	1億3100万円	3.5%	全員賛成
	介護保険	9億6558万円	8億3354万円	15.8%	賛成14：反対1
	介護サービス	1613万円	1539万円	4.8%	全員賛成
	下水道事業	10億21万円	10億599万円	0.6%	全員賛成
	湧水対策事業	612万円	648万円	5.6%	全員賛成
合 計		107億4964万円	106億9740万円	0.5%	

骨格予算：町長選挙により、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算

反対：深澤平助議員

一般会計
の
主な事業

・ 保育所運営費	7億4900万円
・ 児童手当	3億8568万円
・ 障害者福祉費扶助費（給付費等）	2億9060万円
・ 中巨摩地区広域事務組合負担金	1億5244万円

平成26年度補正予算

保育士等処遇改善

一般会計 全員賛成で可決

年度末を控えた予算編成で多くの費目が減額となる中、国・県等で確定している補助金額、また未確定な町税、補助金等をできる限り考慮し見込んだ。歳入では法人町民税と固定資産税の増収を見込み、保育緊急確保事業費補助金を増額補正。歳出では主に保育士等処遇改善臨時特例補助金を増額補正し、国民健康保険・下水道事業特別会計繰出金を減額補正した。また事業執行後の不用額を併せ、1億3207万円を基金に積み立てた。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計	2845万円(総額：17億9010万円)
後期高齢者医療会計	616万円(総額：1億3716万円)
介護保険会計	667万円(総額：8億7075万円)
介護サービス会計	43万円(総額：1517万円)
下水道事業会計	4170万円(総額：9億6781万円)
渇水対策事業会計	0.1万円(総額：648万円)



みんなで遊んで楽しいね

3月議会で決まったこと

平成27年3月定例会は、3月3日から18日までの16日間の会期で開かれました。町長から提出された平成27年度一般会計および特別会計予算7案件のほか、26年度の補正予算7件、条例の制定・改正13件、その他5件、また人事案件1件の計33案件を審議しました。一般会計には5人の議員が10件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを問いただしました。

人事

・昭和町教育委員会委員の任命

▼新任
磯部 幸廣氏
(築地新居区)



任期4年
全員賛成で同意

条例改正

- ・指定居宅サービス等の事業に関する基準等を定める条例の改正
 - ・指定介護予防サービス等の事業に関する基準等を定める条例の改正
 - ・指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の改正
 - ・介護保険条例の改正
- 第6期介護保険事業計画の策定、また関係法律の施行に伴い介護保険料を改定

するもの。

賛成14、反対1（深澤平助議員）

- ・行政手続条例中改正
 - ・昭和町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正
 - ・期末手当の支給割合を改正するもの。
 - ・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正
 - ・職員給与条例の改正
 - ・人事院勧告および県人事委員会勧告に伴い給与を引き下げるもの（平均2％）。
 - ・地下水採取の適正化に関する条例の改正
 - ・地下水の目的以外の利用を制限することを追記するもの。
- 全員賛成で可決

条例制定

- ・指定介護予防支援などの事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援などに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定
- 賛成14、反対1（深澤平助議員）
討論あり

討論

反対討論

深澤平助議員

介護保険は18年前に制定され、全国統一の制度で運営されている。要支援のみ市町村に任せるのは国の責任を放棄すること、制度の改悪といえるため反対する。

賛成討論

林 和仁議員

厚生労働省令の基準は、目的達成のための必要最低限の内容で、地域包括支援センターでは適切な事業運営が行われており、特段の支障はないため賛成する。

その他

- ・地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定
 - ・介護保険法の改正に伴う制定。
 - ・町道路線の認定
 - ・県道甲斐中央線田富町敷島線の一部を町に移管するもの。
 - ・山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散
 - ・山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分
 - ・山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更
 - ・南アルプス市外二市一町指導主事共同設置規約の一部変更
 - ・県市町村議会議員公務災害補償等組合と県市町村総合事務組合の事務処理を統合するもの。
- 全員賛成で可決

総務常任委員会

行財政改革審議会が開かれないのは

石原議員 行財政改革審議会の委員報酬が予算化されているが、1度も会が開催されなかった理由は。
総務課長 第3次行財政改革は作成済みで、問題があれば開催する予定で予算計上したが、特に問題が上がらなかったため開催しなかった。



鋭い質疑が飛び交う委員会

町職員の情報セキュリティ対策は

深澤（克）議員 マイナンバー制度導入に伴う情報セキュリティポリシーについて、番号利用法に関するシステム改修に関連し、どのように構築していくのか。
また、各課の情報が統合されると情報漏えい等、危険性があり、どのように防御するのか。
企画財政課長 平成26年度に情報セキュリティ委員会の立ち上げと基本方針の見直しを実施し、27年度に対策基準・実施手順を作成し、運用していく。それに基づき職員研修を実施し、情報の大切さの自覚とシステムのセキュリティ強化を図る。

教育厚生常任委員会

学校運営協議会のメンバー構成は

深澤（平）議員 すでに押原小は指定されているが、町内の小中学校全て来年度からコミュニケーションスクールに指定される。学校運営協議会のメンバー構成は。

学校教育課長 保護者や学識経験者など15名。
河田議員 今までの学校評議員はどうなるのか。
教育長 学校運営協議会へ移行するため、なくなる。

給食費滞納増加対策は

福島議員 給食費の滞納が急激に増加している。教育委員会全体で取り組むべきでは。

深澤（克）議員 滞納の理由を細かく分析するため、税務課・福祉課など行政全体で取り組むべきだ。



栄養バランスのとれた給食

学校教育課長 町内四校の学校管理者との共有と関連する課との連携を図り、取り組みたい。

産業土木常任委員会

住宅耐震を進めるべきでは

河住議員 耐震調査費用は。都市整備課長 内容により差がある。補助として4万5千円を予算計上。福島議員 耐震化率が伸びない原因は。都市整備課長 希望者が行つたため強制できない。戸別訪問でPRしていく。



あなたの家は大丈夫ですか

多目的広場の防犯を

福島議員 区画整理地内の多目的広場の防犯は。都市整備課長 トイレの屋根などに、記録式防犯カメラの設置を考えている。

議会による現場視察

- ・町総合会館に設置された太陽光発電設備を視察。(災害時に使用する目的で設置。発電容量は10kw)
- ・井戸端会議(押越区)で問題提起された現場調査(町に進言し、対応を依頼)

水源対策特別委員会

ホタルの里(特養)井戸設置届け出は

田中議員 清水新居区に建設される、ホタルの里(仮称)の付近に井戸はどのくらいあるのか。環境経済課長 届け出がないため、井戸はないと思う。

林議員 施設入居者数を考えると、風呂やトイレ等の使用量として7・4立方メートルとは少ないが。

副町長 福祉施設では飲み水等は殺菌した水を使用する。用途により使用する水が異なるため、地下水使用量を少なく見込んでいる。事業者に直接確認する。深澤(平)議員 5地点で常時水位の観測をしているが、各地区に1カ所作って昭和町全体の水位を観測したらどうか。特に湧水期には西条一区から西条新田にかけて水位が非常に低い。副町長 町は不透水層が少なく西条のカインズ付近、また阿原地区以外は砂れきの土地が多い。



特別養護老人ホーム ほたるの郷・翔和(視察)

試験井戸をどこにするか、また、不透水層の位置図的なもの作成等、山梨大学の先生と協議し検討していきたい。

H27年4月1日より、「ほたるの郷・翔和」として運営をスタート

地方分権対策特別委員会

ふれあい保養施設 松崎町と契約締結

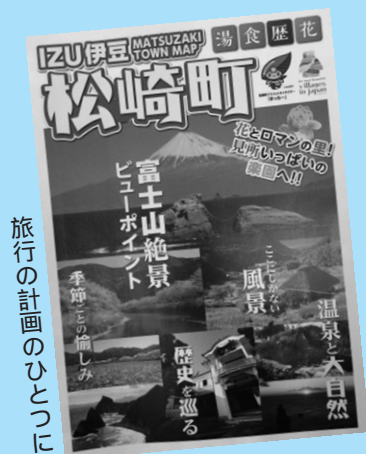
深澤（平）議員 松崎町と契約したが、1泊3千円の補助なのか。総務課長 1泊3千円補助、また、美術館等の見学科1、500円を補助し、併せて4、500円の補助。

ふるさと納税の 特典提供経費を少なく

遠藤議員 ふるさと納税の諸経費が55%で、税収としての寄付金額は45%となる。経費がかかりすぎでは。
副町長 ふるさとを思う気持ちか、第3の税と捉えるかで考え方も違ってくる。納税1万円に対し特典が3千円。業者委託料やネット使用料、通信・運搬費を含めると経費がかかる。
遠藤議員 町を思う気持ちを考えると、特典は20%で良いのでは。
副町長 ネットや持参で寄付を受けるが、全国的にも特典は30%くらい。認知度を深めるためにも、4月からこれでスタートし、今後検討していく。

住民生活等緊急支援金 商工会会員店で使用を

遠藤議員 消費喚起型の国、県交付金事業で、プレミアム商品券として1万円に2千円の上乗せ、子育て関連で、さらに千円上乗せして発行するが、対象者にどのような形で発行するのか。また商工会会員店（地元商店）での使用を望むが、町の考えは。総務課長 今後検討していくが、金額については、町費を使わず交付金事業内での対応とし、7月を目処に最大で5千部の発行を予定している。また、国は消費喚起なので全国レベルでの使用を考えているが、町はできる限り商工会会員店での使用をしたい。



旅行の計画のひとつに



町の活性化に



町民と商店をつなぐため

研修報告

1月19日 山梨学院大学との研修会

「広域的なまちづくりについて」

講師：中井道夫教授

2月2日 香川県綾川町議会視察受入

「議会アドバイザー(モニター)議会基本条例について」

2月13日 山梨県富士川町議会視察受入

「山梨学院大学との連携内容について」

水源対策特別委員会

2月27日

「甲府盆地及び昭和町における地下水の状況について」

講師：山梨大学国際流域環境研究センター

特任助教・博士(工学) 中村高志氏



香川県綾川町議会の皆さまと

追跡 あの一問一答は どうなった?

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



新たな町教育行政方針は

平成26年6月議会 質問者：石原高明議員

問

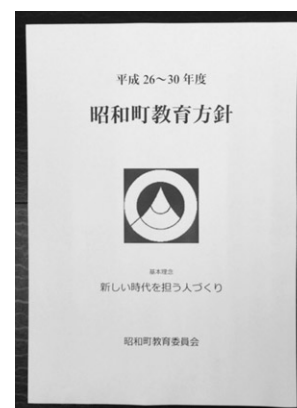
本町独自の昭和教育的実現に向け、さまざまな取り組みを推進してきたが、平成25年度で計画期間が5年目となる。新たな策定が必要では。

答

新「昭和町教育方針」は平成26年6月中の完成を目指す。これまで「昭和町教育」に携わってきた方々の思いを継承し、発展を目指し、町の特色を生かした施策を盛り込みたい。

その後

昭和町教育方針
(H26～30年度)
が定められ、町
ホームページか
ら確認できます。



施策を問う ー ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 事業評価と 総合計画策定は

総合計画策定は

A 審議会を設置し 多くの声を反映



いしはら たかひろ 議員
石原 高明

石原

第5次総合計画が27
年で終了する。分野

別の上位計画の主要事業を対
象に、第三者による事業評価
を実施する考えと、次期計画
に町の姿をどのように盛り込
むのか。

町長

町独自で制度化した
評価手法の、協働政
策評価を23年度からスタート
した。今まで同様に、議員と
精力的に事業評価を進め、さ
まざまな機会に協議し計画に
反映していきたい。また、次
期総合計画は審議会を設置し、



緊急輸送道路付近(築地新居区)

石原

東海地震はいつ起こ
ってもおかしくない。
大規模災害時に緊急輸送道路
や避難路を確保することが大
事だが、耐震診断や耐震補強
はそのための手段だ。避
難路や緊急輸送路確保は。

**Q 緊急輸送道路
避難路確保は**

**A 通行障害建築物
耐震化を啓発**

コンパクトな町づくりや高齢
者を支える仕組みづくり、生
涯学習拠点整備などの考えも
盛り込み、未来の昭和町の姿
を描いていきたい。

町長

緊急輸送道路は大規
模災害発生時、指定
車両しか通行できない。防災
拠点の役場・避難所・ヘリポ
ート等を結ぶ道路も輸送路を
確保し、通行障害建築物も耐
震化を啓発する必要がある。
災害時通行不能道路は、建設
業者に輸送道路確保の協力を
得たい。

**Q 富士山噴火、災害
対策備品見直しは**

**A 啓発に努め、降灰
収集袋は町で回収**

石原

降灰影響予想範囲の
中に、甲府盆地に10
cmほどの降灰が想定されている。
降灰袋と併せ、災害対策用備
蓄品の確保は。

町長

町及び自助として事
前に準備する備蓄品や、
降灰の場合の注意事項を、広
報誌やホームページで周知する。
降灰を収集した袋は町で回収し、
町民の負担軽減を考えている。

Q 市街化調整区域内の開発は A 条例制定など段階的に進める



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中

調整区域内の開発許可事務権限の運営には

県知事からの権限移譲と町の条例が必要になる。いつから調整区域にかかる開発許可条例が施行になるのか。

町長

許可基準を定める条例で、市街化調整区域の範囲や許可基準を制定でき、開発行為が可能となる。条例制定は都市計画マスタープランの見直しと並行し検討・協議を進め、住民の意向調査・県との協議や住民説明会を重ね制定する。

Q 生涯学習活動拠点施設の検討経過は

A 図書館機能を併設し建設の道筋つける

田中

町長の3期目の政策に、幅広い年齢層の人が交流・文化活動ができる生涯学習館の建設を検討する。現在の状況と今後の予定は。

町長

早急に対応すべき課題だが、財源確保が進まない現状だ。

構想段階だが公民館取り壊しの後、図書館機能を併設した生涯学習館を建設し、同時に現在の図書館は町民活動支援センターとして活用、文化活動と町民活動の両方の推進拠点づくりを行いたい。生涯学習館は単なる箱モノではなく、ひとづくりの拠点となる

運用は平成29年度以降になるが、市街化調整区域の開発は多くの町民から条例制定を早く望む声があり、段階を踏んで進めていきたい。

重要な施設と位置付けており、調査研究を行い補助金等の財源を確保し、建設に向け道筋をつけたい。



文化活動が活発に行われるために

Q 中3までの医療費無料化は A 医療費助成を検討したい



河住 保茂 議員

河住

県内の町村の中で、
中学3年生までの医
療費無料化を実施してい
ないのは昭和町だけだ。
町長任期
中に実施する考えは。

町長

現状、医療費の助成
対象拡大のため、周
辺5市と協議を進め、助成す
る医療費や事務費、国保の国
庫負担金等の減額、障害者の
医療費助成が自動還付方式と
なる不公平感や、多受診問題
などの課題もある。他の5市
と連携し、中学生までの医療
費の助成に向け検討してい
きたい。

Q 子どもの貧困対策
町の現状は

A 助成制度上乗せや
町単独施策検討

河住

親から子供への貧困
の連鎖を断ち切るには、
実効性ある対策が必要だ。
子どもの貧困についての考
え方と町の現状は。

税金・健康保険料滞納など
はSOS信号だ。

町の現状を早期に調査し、
対策が必要だが。

町長

税など徴収部門で
の面談を含め、役場
窓口で経済面や健康生活面など
困りごと相談の場合、福祉・
保健・教育委員会担当につな
げるよう、各課に徹底し努め
ていく。

公的支援は今後とも不可欠。
保育料の軽減や学校給食費の
軽減、父子家庭食事サービス
など、低所得世帯支援事業を
実施している。

また、昨年8月に「子ども
の貧困対策に関する大綱」を

定め、具体的な取り組みを始
めている。今後、困窮世帯を
取り巻く総合的な支援、教育・
生活・就労・経済的な支援など、
地方自治体の立場で担う役割
と判断した場合、必要に応じ
助成制度の上乗せ等、町単独
施策などの創設を検討。関係
団体や民生・児童委員の協力で、
子どもの貧困解消に向け努力
したい。

乳幼児等医療費に対する援助の実施状況調査

市町村名	入院	通院
昭和町	12歳年度末	12歳年度末
甲府市	12歳年度末	12歳年度末
富士吉田市	15歳年度末	15歳年度末
都留市	15歳年度末	15歳年度末
山梨市	15歳年度末	15歳年度末
大月市	15歳年度末	15歳年度末
韭崎市	15歳年度末	15歳年度末
南アルプス市	12歳年度末	12歳年度末
北杜市	9歳年度末	9歳年度末
甲斐市	12歳年度末	12歳年度末
笛吹市	15歳年度末	15歳年度末
上野原市	15歳年度末	15歳年度末
甲州市	15歳年度末	15歳年度末
中央市	12歳年度末	12歳年度末

Q 障がい者の高齢化対策は A 地方自治体間や民間で支える



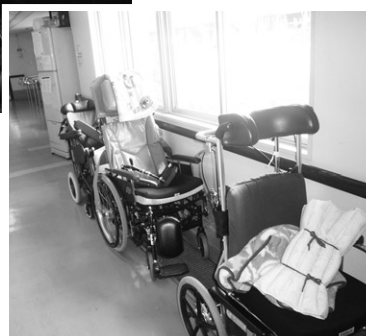
かわだ 河田あけみ 議員

町の各種手帳の交付状況をみると、身体障害者手帳交付が546人、療育手帳交付者が87人、精神障害者保健福祉手帳交付者69人の合計702人となっている。年齢の分布と現状把握、家族状況や今後の課題等、どのような施策を考えているか。

河田 高齢化の急速な進展で、障がい者自身の長寿・高齢化や家族の高齢化問題が顕著で、特に先天性の障害を持つ方の高齢化が進む状況がある。



深刻さを増す高齢化 迅速に手厚い対応を



町長 先天的に身体障害や知的障害、精神障害をもった方も、加齢に伴う生活機能の低下は健常者より障害者の方が、日常生活への影

響が想定される。障害者の年齢分布は、身体障害者で61歳以上が全体の75%、療育手帳所持者は40歳以下が全体の88%、精神障害者

は30歳代から80歳代まで広く対象者がいる。国は障害者総合支援法に基づき各種の施策を進めており、施設入所だけでなく住み慣れた地域の中で生活が行えるような仕組みを構築しようとしているが、十分な受け皿がないのが現状。支援施設の町単独設置運営は困難で、地方自治体間の協力や、民間の力でグループホームの設置など、生活や雇用を地域で支え合うのが望ましいと考える。介護保険の包括支援事業と連携し、実現のため一歩ずつでも前進できるよう、県や関係団体と協力していきたい。

Q 後期高齢者医療の特例軽減は A 医療制度改革内容を注視する



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員

深澤 町には1、500人の後期高齢者がいる。半数は特例軽減を受けているが、継続すべき当然の施策だ。町の考えは。

町長 後期高齢者の保険料軽減特例は、公平性から見直しが求められている。特例措置は段階的に縮小し、実施は介護保険料の軽減の拡充や、年金生活者支援給付金の支給と合わせ実施することで、低所得者に配慮し、29年度から本則に戻すとしている。今後の医療制度改革の内容を注視していきたい。

Q 介護保険制度の改正は改善

A 現行サービスを継続し方向付け

深澤 国は特別養護老人ホームとデイサービス事業所の、報酬引き下げを行おうとしているが、人手不足とサービス低下を招く。このような状況下、移管される要支援の事業について町は施策をどうするのか。

町長 要支援1が10人、要支援2が29人認定されている。明確な方向性は示せないが、現行サービスを継続する中で、移行猶予が29年3月と定められているので、事業所委託も視野に、方向付けしていきたい。

Q タクシー利用助成事業拡充は

A 負担軽減の方向で検討する

深澤 重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業で、月4枚、年48枚の乗車券が支給されている。利用助成拡充の考えは。

町長 近隣市の適用状況を確認し、助成対象をどの範囲まで行うか、助成対象等級や利用枚数も検証し、負担軽減を図る方向で検討したい。



お年寄りが元気に快適に過ごせるために
(高齢者ふれあい教室のストレッチ体操)

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だより165号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 特集 平成26年度、当議会が“全国町村議会○○○○”を受賞!
- 2 角野町長施政方針 基本とするのは○つの柱
- 3 ふれあい保養施設拡大!静岡県○○町と長野県○○町

164号クイズの答え

街頭活動

864

釜無

私は昭和町に転入して七ヶ月あまりですが、
色々な面ですぐに対応していただき町の業務にも
今ではどんなに掛かり行きます。
これから親しみのあつる昭和町に期待します。
あみとうごさーい

(75歳・女性)

『昨今流行語大賞』……なんて騒いでいる中
『井戸端会議』なんてなつて言葉!!この小さな
グループで意見・要望を言い合っているお陰で素晴らしい
昭和町が成り立っているのですね。♡……

(68歳・女性)

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!

「議会だより」は町の行政
面などを大変良く町民に
お知らせになっております。
町を更に良くしてください。

(41歳・女性)

1ヵ月間の議会の取り組みが
わかりやすくまとめられていてとても
いいと思います。
ふるさと納税の特産品を町外の方
に限定するのはなくて町内の方でも
受けられる制度にして欲しいです。

(34歳・女性)

井戸端会議の記事は各地域から
様々な意見が出て参考にしたい。

振り込め詐欺の年賀ハガキはな
かなか良いアイデアで詐欺にあわない
様気持をしようと思った。

(77歳・女性)

この他にもたくさんの回答をいただきました!
ありがとうございました。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だよりを読んだ感想」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。

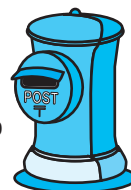
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX: 055-275-5250
- メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

5月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

住み良い町



飯喰区

堀内かつみさん

米と野菜で生計をたてる農家が大半を占めていた飯喰に嫁ぎ、45年が経ちました。当時は怖い病気とは知らないまま、空き缶と割り箸を持って参加した宮入員の生息調査、霞堤では子どもたちとツクシやヨモギを摘み、秋には稲田でイナゴやツボ取りをして食卓を飾りました。

こんなのかな地域も、今は常永土地区画整理事業が完成して大きく変わりました。家が立ち並び住民が増え、世界規模の大型ショッピングセンターが進出し、医療機関やさまざまな店ができ、一変した便利な環境で生活している今が夢のようです。

また、行政の多方面に渡る施策や多種多様な講座、サークル活動も充実していて、その活動を通して学ぶことと同時に、人と触れ合う楽しさも実感しております。

私は「子育て支援」の講座を受けて会員となり、ファミリーサポートのお手伝いをさせていただいております。

純心無垢の子どもはとても可愛くて、一緒にいると温かい気持ちになります。子どもたちの将来のためにも、いつまでも「輝ける住み良い町」であり続けてほしいと願っています。

今は昭和町の住人として



西条新田区

小池公昭さん

甲府から昭和55年に清水新居に引っ越してきました。地区が甲府との境界にあつた関係上、子どもは委託児童として甲府の学校に、私も籍は昭和町にありながら、地区からの誘いもなく、お付き合いは德行南部自治会に所属して役員等を引き受け、選挙等の公の時は清水新居の公会堂に行っていました。

平成19年に西条新田区に終の棲家を構え、永年昭和町に籍がありながら、昭和町の住民でないような27年間でしたが、町のスロガンでもある「小さくとも住みよい町」を実感しています。

少しでも地区の人たちとの交流を深めるために、役員選出の時に生涯学習委員に応募し、よき先輩に恵まれ、地区の人たちと交流を深め、町の教育委員会発行の「昭和町いきいき文化財ガイドマップ」を参考に尋ね歩いていきます。私の住んでいる西条新田区には、風土を学び風土を生かす「昭和町風土伝承館」の杉浦醫院があります。昭和町の人だけでなく多くの人たちが見学されることを願っています。

これからも発展していく昭和町ですが、本当に住んで良かったと思われる町になるよう期待し、応援したいと思います。

4年間、ご愛読いただきありがとうございます

4年前に編集委員に就任して以来、今回165号の編集を最後に委員の任期が終わります。常に、町民の皆さまが読みやすく、議会活動や議会改革が一目で分かるよう、先進地視察や研修を通じ研鑽を積んできました。その成果が県に認められ、議会だよりが6年連続の最優秀賞に輝いたものと思います。町民の皆さまや関係者に心より感謝申し上げます。

委員長 石原高明

●広報編集特別委員会
委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田 あけみ
河住 保茂

三井 克男
深澤 猛

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

6月9日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(今澤・磯部)